

「元輝^{げんき}学舎^{がくしゃ}」せんだ通信 6

児童川柳 「秋になり スポーツごはんの バランスを」

四字熟語 「努力 夢叶」(努力すれば 必ず夢は叶うの意)

平成23年 9月27日

~ 校長室だより ~

どの学年の児童も、千田小のグラウンドに尊い汗を流し、成長の証を残して、第86回目の運動会は幕を閉じました。保護者・地域の皆様方には早朝よりご観覧いただきましたこと、児童にとっても大きな励みとなりました。厚く感謝申し上げます。ところで、ある記念碑もまた、練習時から児童の運動会への一生懸命さを、ずっとみてきました。

『躍動』と名付けられたこの碑は、本校創立60周年を記念し、人間国宝である北村西望氏が製作された作品で、「花吹雪の下で、天真爛漫に天に向かってたくましく躍動、乱舞している姿を表現したもの」なのです。紺碧の空のもと、運動会は、「一致団結！ みんなの絆 深めよう」をテーマにし、鼓笛隊の威風堂々としたオープニング演奏で始まりしました。この『躍動』の石碑のごとく、いずれの種目も全児童が練習の成果を、成長の証を体全体で表現し、大きな感動を生んだ運動会となりました。児童の運動会奮闘の詳細は後日、お便りしますので、ご期待ください。



運動会の疲れをよそに、すべきことを為す子どもたちは「すごい」

昼休憩が終わると、掃除の時間の開始を告げるクラシックの楽曲が流れます。「学校を綺麗にして、こころもすっきり」と、1年生も黙々と掃除に励む。掃除名人と称したい児童が何人もいます。例えば、砂があがり所どころ黒ずんだ汚れのある階段の掃除、滑り止めのレールの部分まで、綺麗に掃き拭く児童に、汚れとれ光沢が戻る。そんな児童の姿に、私も負けられないと箒を動かす。



また、掃除終了時に、ある光景に出会う。四人の児童が集まり、掃除道具を確認しながら収納しているのです。道具も大切にしている児童の姿にふれ、感動と感謝の念がうまれ、心もぼかぼかしてくる。これは、記録に残しておきたいと、その後、カメラをONに。後片付け名人に大拍手です。そして「ありがとう」。



~ 最近読んだ本のなかで、感銘をうけた一節 ~

本の主人公は、江戸初期の儒学者である中江藤樹です。近江の聖人と称えられた藤樹は、日常のなかで心がけることとして、五事を正すことの大切さを説いています。その五事とは、・・・

和やかな顔つきをし、 思いやりのあることばで話しかけ、
澄んだ目で物事をみつめ、 耳を傾けて人の話を聴き、
真心を込めて相手のことを想う。

藤樹は、これら五事を正すことを自らの戒め、人生訓とし、村人に実践・表現してみせたそうです。私も心がけ、児童の夢追求のたびを支え励ましていきたいと思ひます。同時に、これらのことの大切さを児童にしっかりと伝えていきたいと思ひます。